

京 都 大 原 学 院
令和2年度 学校教育目標・経営方針

1 理念 (Vision)

「魅力ある持続可能な学校（行きたい、行かせたい、活かしたい、赴任したい学校）」

2 役割

○公立の学校として、地域文化を継承

○義務教育の学校として、社会をつくる人材の基礎をつくる（勤労、主権者、人権、平和の担い手）

3 育てたい資質・能力

①人としての資質

他者を思いやる、人権を大切にする、命を大切にする

②社会性・人間性

人間関係をつくる、課題解決ができる、協働する、忍耐、柔軟性

③地域を活性化させる

社会で活躍するか地域を元気にさせる「地域リーダー」の育成のために
地域を誇る、貢献する、創造性

④学力向上

言語能力、読解力、論理的思考力、聞く、読む、書く、表現する力

⑤夢を実現させる力

グローバルなビジョン、強い志

⑥つながり、かけ合わせの発想

グローバル（世界視野）とローカル（地元の良さ、足元から）をつなぐグローバル人材の育成
不易（人権尊重、自然敬愛、歴史や伝統を大切にする）と流行（情報：ICT、国際：英語）

4 学校教育目標と目指す子ども像

◇学校教育目標

「大原のゆとりある心を 自信をもって伝えられる子に！」

◇目指す子ども像

①思いやりをもち、自ら汗のかける子の育成

- ・礼儀正しく、どんな人にもていねいに思いやりをもって接することができる。
- ・清掃、農作業、いろいろな行事などの準備、後片付けなど勤労作業をいとわず、自分から仕事を見つけて動ける。

②科学的思考のできる子の育成

- ・自分の頭で物事を考え、データを基に、根拠をもって説明することができ、人の考えを取捨選択した上で、きちんと伝えられる。
- ・世の中の動きや流れに目を向け、常に先の見通しをもち、現状を科学的に見据えながら地域の将来を考えていける。

③コミュニケーション力を発揮できる子の育成

- ・きちんとした日本語を使い、相手に自分の意志を正しく伝えられる。
- ・大勢の前で堂々と発表できる。
- ・見知らぬ人にも躊躇せず話ことができ、自分の考えをきちんと伝えられる。
- ・英語で会話することができ、見知らぬ人や外国人にも大原の良さを伝えられる。

5 経営方針 ～大原の魅力を見つけ、生かし、発信する～

(1) 大原の強みを生かす

①小中一貫教育 9年間のスパンと系統性で、就学前から卒業後まで見通せる環境がある

②コミュニティ・スクール 地域とのつながりが強く、教育資源が豊富

- ③小規模校 目が届きやすい、きめ細かな指導ができる、手作りの良さがある
- ④キャリア教育の充実 大原提言をゴールとした系統的な学習ができています。
- ⑤外国語に親しみやすい ALTの活用や KCJS、~~ハワイ~~大交流などを通して慣れやすい。
- ⑥基本的な生活習慣がある
- ⑦理数教育が重視されている
- ⑧~~小規模校サミット~~などで、全国の学校・地域とつながっている
- ⑨小柳先生や小松先生など、大学の先生の支援・助言がある
- ⑩寺院の支援を受け、規律規範意識が育てられている。

(2) 学院生に向けて

- ①一人ひとりの夢の実現のために、「学力」も「人間力・社会性」も伸ばす。
- ②「命を守る」視点から、自他を大切にし、安心・安全な環境づくりの担い手に育てる。
- ③自尊感情を高め、互いを尊重し、人権の担い手となる子を育てる。
- ④地域の伝統文化を継承し、地域への誇りと愛着を育み、地域の未来を創り出す子を育てる。
- ⑤地域貢献のキャリア教育（生き方探究教育）を推進し、多くの大人と関わり、より良い地域や社会をつくる力を育てる。
- ⑥英語を学校の特色として、グローバルの視野に立ち、コミュニケーション力を発揮できる子を育てる。
- ⑦全ての学校生活の中で、「つながり」を意識できる子を育てる。

(3) 教職員に向けて

- ①「チーム大原」を意識し、自分の仕事に責任をもち、助け合う・支えあう職場をつくる。
- ②ひとりの社会人・公務員としての自覚と責任を常に持つ。
- ③地域と関わり、地域の教育資源を取り入れた授業や行事を積極的に行う。
- ④過去に縛られない柔軟な考え方をする。
- ⑤全ての授業を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現させる。
- ⑥授業力向上のため、研究授業や他学年交流、また校外での研修を推進する。
- ⑦「困り」を抱える子どもたちのため、情報を共有し、支援していく。

(4) 家庭に向けて

- ①基本的な生活習慣 あいさつ、食事、整理整頓、けじめのある生活
- ②規範意識の定着 しかる、ほめる、認める
- ③安らげる家庭 子ども、家族と会話がある生活
- ④学校と協力 「人の悪口」で解消せず、親・子・学校一緒に解決する
- ⑤家庭学習の進め 生涯学習、学習のスタイルをつくる

(5) 地域に向けて

- ①安全・安心な地域づくり 見守り、声掛け、あいさつ
- ②規範意識を定着させる どの子も怒る。どの子も褒める
- ③大人としての役割 社会人として、地域の先輩として接する
- ④学校ボランティアの拡充 学校内の施設への協力、授業や行事へのボランティア活動。
- ⑤学校教職員を育てる 「風の人」である教職員を、「土の人」である地域住民が育てる。

(6) 地域外に向けて

- ①奈良教育大学と連携を深める。（学力分析、~~奈良教育大学4年生地域滞在型教育実習~~）
- ②~~第6回小中一貫教育小規模校サミット~~を支援し、全国の小規模校と連携を続ける。
- ③被災地支援に取り組む。福島や熊本の被災地の学校と連携を続ける。
- ④学校や地域での取り組み・成果を、広く発信する。